

# 中2英語



## 異文化理解入門編

### 外国の文化を紹介するプレゼンをしよう

JH2 Class( ) No.( ) Name( )

0	・イントロダクション(ループリック共有) ・事前準備ラストスパート!(写真と英文) ・ゲストとの共有スプレッドシート確認	11/20(月)	6限
1	<b>★Culmony1回目</b> 『Nice to meet you』@Zoom(岩澤さん・海外ゲスト) ①self Introduction (自己紹介)・アイスブレイク ②「私の年末年始」についてトーク・異文化を知る 冊子書込みあり	11/27(月)	5・6限
2	情報収集しよう① 図書活用・冊子書込みあり	11/28(火)	2限
3	情報収集しよう② 図書活用・冊子書込みあり	11/29(水)	2限
4	<b>★Culmony2回目</b> 『文化の紹介の仕方』@Zoom(岩澤さん) 深掘り質問を考えてみよう 冊子書込みあり	11/30(木)	4限
5	深掘り質問を考えてみよう② 冊子書込みあり	12/1(金)	7限
6	<b>★Culmony3回目</b> 『実際にインタビューしよう』@Zoom(岩澤さん・海外ゲスト) 情報を整理してアウトラインを考えていこう 冊子書込みあり	12/4(月)	5・6限
7	英文を作成しよう 冊子書込みあり	12/5(火)	2限
8	スライド作成① keynote利用	12/6(水)	2限
9	スライド作成② keynote利用 (音声収録/発表練習)	12/7(木)	4限
10	<b>Culmony 4回目『最終発表』@Zoom</b> ①スライド発表 (別のグループで) ②まとめ (文化の違いや個人の違いについて思ったこと)	12/11(月)	5・6限

# Introduction

探究を進めていくにあたって、「情報を集める＝資料を読む」だけではありません。

実際に人にインタビューして深掘りする質問をしながら、その人が本当にどう思っているか、どのように考えているかを探っていくことも、必要な情報集めになっていきます。

今回、皆さんが挑戦するのは、外国の文化を交流した相手から学んで、それを他の人に紹介すること。

ただ外国の文化を紹介する時に避けられないのが、「ステレオタイプ」です。例えば、「日本はサムライの国!」「寿司が有名」と言う紹介を目にしても、「もっと違うところがあるのに」と思うことはありませんか? 「日本人は細やか」「日本人は礼儀正しい」と言っても、全ての人がそうでしょうか?

今回は、そんな「ステレオタイプ」にとどまらず、**一歩踏み込んだ文化紹介ができるようにチャレンジしてみましよう。**

## ループリック

タグ	観点	A	B	C
3	仮説の検証に必要となる情報を集めることができる	①資料とインタビューの2つの情報源から情報を集めている。 ②様々な視点の質問をすることで、以下のような資料だけでは得られない情報を引き出している。 ・ゲストの個人的な経験、感じていること ・ゲストから見たその国の様子	①資料とインタビューの2つの情報源から情報を集めている。 ②インタビューでは基本的な質問をするにとどまっている。	資料のみを使って調べられている。 (冊子にインタビュー結果を記録できていない場合も含む。)
8	ものごとを筋道立てて考えることができる	資料とインタビューで得られた情報をきちんと整理して、表面的な文化の紹介にとどまらず、ゲストとの交流を通して深掘りされた文化紹介が初めて聴く聴衆に伝わるようにプレゼンにまとめられている。	資料とインタビューで得られた情報を元に、表面的な文化の紹介にとどまらず、ゲストとの交流を通して深掘りされた文化紹介がプレゼンに含まれている。	調べた情報を元に表面的な文化紹介の内容がプレゼンに含まれている。

## 成果物

・テーマ『ゲストの年末年始』 ～過ごし方から見える文化を紹介しよう～

・3分程度の英語でのプレゼン(Keynote)で以下の内容を含めてゲストの文化を紹介する

①ゲスト紹介

②わかりやすい文化紹介・・・調査した、表面的な国や文化の情報 → P8①の部分

③深掘り文化紹介・・・インタビューした結果 → P8・9の②③の部分

**★ゲストの実体験「ゲストは○○で年末年始を過ごす、年末年始に○○をする」など**

**★ゲストが思うその国や、その文化、人々・あるいは家族の考え方(過ごし方の根底にあるもの)**

④まとめ・気づき・・・調査や交流を通して自分の中で変わった・気づいたこと(P9の④の部分)

・違うゲストの話聞いたクラスメイトや別のゲストに対してプレゼン

・12/7(木) スライドに音声収録したKeynoteファイルをClassroomに提出、12/11(月)冊子提出

**11/27(月) ゲストとの交流 Nice to meet you!**

【自分について】 自己紹介、大丈夫そう？

My name is \_\_\_\_\_ .

My hobby is \_\_\_\_\_ . or I like \_\_\_\_\_ .

**【ゲストについて】**

ゲストの名前：

\_\_\_\_\_

ゲストの出身国：

\_\_\_\_\_

ゲストの趣味や好きなこと・ハマっていることなど：

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ゲストの「年末年始」：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ゲストの初めて! or 印象に残った異文化体験

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

次回紹介される内容をメモしておこう！

---

## 11/28(火), 29(水) 情報収集しよう

ゲストの国について調べていきましょう。

①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

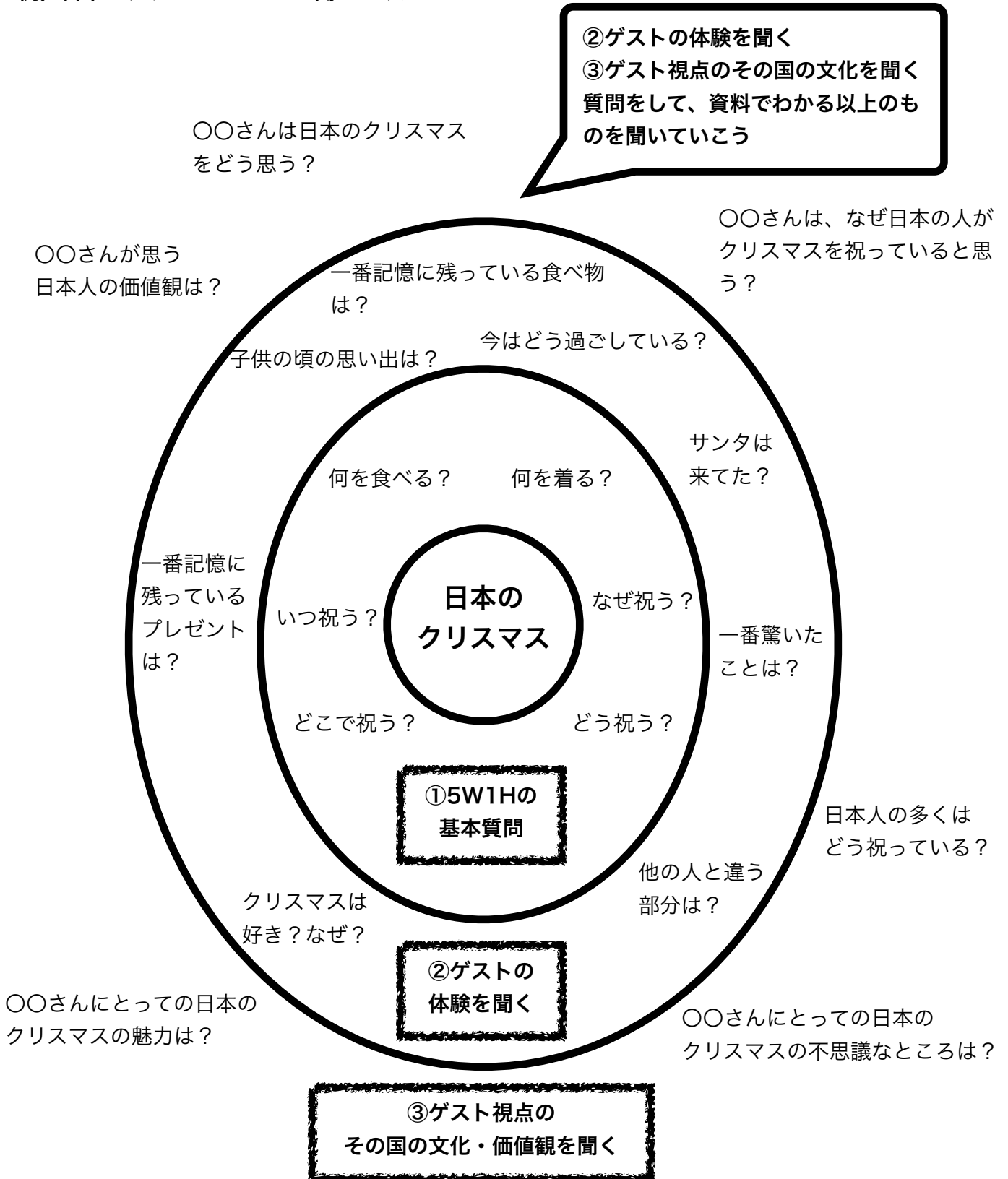
①書名/サイト名
②著者名/作成者名
③出版社/URL
④出版年/閲覧日
⑤資料の内容メモ

11/30(木)・12/1(金) 深掘り質問を考えてみよう

5W1H以上の質問を考えて、より深掘りする質問はこんなイメージ。

- ・ゲストの体験
- ・ゲストが思うその国やその文化の人々の考え方を深掘りする質問を考えよう。

例) 日本のクリスマスについて聞いてみた!



- ①K (What I Know)・・・私がすでに知っていること (調べて分かったこと)  
 ②W (What I Want to Know)・・・私が知りたいこと (ゲストに聞く質問リスト)  
**当日は質問リスト以外のことを追加で聞いてもOK!**

ゲストに聞いてみたい質問はこの枠に↓

①K (What I Know)	②W (What I want to know)
国について	
食事	
服装	



## 12/4(月) 実際にインタビューしよう

③L (What I Learned)・・・私が学んだこと (質問して分かったこと)

④C (What Changed)・・・イメージが変わったこと →①と③を比べてみて感じたことは？

**質問リスト以外のことを追加で聞いてもOK!**

③L (What I Learned)	④C (What I Changed)

## 12/4(月) 情報を整理してアウトラインを考えていこう

今まで集めてきた情報を短いプレゼンに全て入れ込むことはできません。

そして、今回プレゼンを聞いてくれる人は、あなたのゲストの話を通して初めて聞きます。

ステレオタイプ的な紹介にならずに、ゲストの話あなたの視点で伝えてください。

特に自分が気になった部分を中心に

テーマ『ゲストの年末年始』 ～過ごし方から見える文化を紹介しよう～

・3分程度の英語でのプレゼン(Keynote)で以下の内容を含めてゲストの文化を紹介する

①ゲスト紹介

②わかりやすい文化紹介・・・調査した、表面的な国や文化の情報 → P8①の部分

③深掘り文化紹介・・・インタビューした結果 → P8・9の②③の部分

★ ゲストの実体験「ゲストは〇〇で年末年始を過ごす、年末年始に〇〇をする」など

★ ゲストが思うその国や、その文化、人々・あるいは家族の考え方(過ごし方の根底にあるもの)

④まとめ・気づき・・・調査や交流を通して自分の中で変わった・気づいたこと(P9の④の部分)

が伝わるような構成を取捨選択してアウトラインを考えていきましょう。

Introduction (テーマの提示)

Main Body (伝えたい内容)

①

②

③

Ending (まとめ・調査や交流を通して自分の中で変わったこと・気づいたこと)

12/5(火)~12/7(木) 英文・スライドを作成しよう

作成後は可能な限りNLTのチェックを受けてから、スライド作成へ。

\*スライドには話すこと全てではなく、キーワードを載せる。1スライド3文程度＝合計3分発表

順番	スライドにのせるKeywords	スライドイメージ
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

話す内容 (in English) \*NLTチェックを受けよう！






資料1: 問いを考える時の視点の参考にしよう

桑田てるみ(2015)『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版 スキルを学ぶ21のワーク』実教出版 より

<input type="checkbox"/> <b>信ぴょう性</b> 本当に?	<input type="checkbox"/> <b>定義</b> どういう意味?	<input type="checkbox"/> <b>時間</b> いつから? いつまで?	<input type="checkbox"/> <b>空間</b> どこで?
<input type="checkbox"/> <b>主体</b> だれが?だれは? だれにとっての?	<input type="checkbox"/> <b>経緯</b> これまでどのよう に?	<input type="checkbox"/> <b>状態</b> どんな状態? どのような?	<input type="checkbox"/> <b>方法</b> どうやって?
<input type="checkbox"/> <b>順番</b> どの順番で?	<input type="checkbox"/> <b>分類</b> どう分けられる?	<input type="checkbox"/> <b>数量</b> どれくらい?	<input type="checkbox"/> <b>因果</b> なぜ?
<input type="checkbox"/> <b>比較</b> 他はどうか? どちらが?	<input type="checkbox"/> <b>限定</b> すべてそうなの か?	<input type="checkbox"/> <b>解決法</b> どうすべきか?	<input type="checkbox"/> <b>一般化</b> これだけか?

資料2: Useful Writing Expressions(便利な英語表現)

つなぎ言葉	「例えば」 「実際に」 「事実」 「さらに」 「その上」 「しかし」 「だが」 「~なので」 「第一に」 「第二に」 「最後に」 「結論として」 「私は~だと思う」 「人々は言う」	for example / for instance in fact / actually moreover / besides / furthermore however / yet because / since first / firstly second / secondly lastly / in conclusion I think S V People say that S V <b>*and/ but/ becauseで文を始めない!</b>
文化に関わる言葉	「文化」 (文化の) 「衣服」 「宗教」 「ありふれた」 「国民の祝日」 「伝統」 (伝統的な)	culture (cultural) clothes religion common national holiday tradition (traditional)
Introduction	Start with a greeting or opener(あいさつから) : Good Afternoon. / Hello. Then introduce what you will talk about (何を紹介するか) : Today I want to show you ( ). Today I want to present ( ). Do you know ( )?	
Ending	Remind the audience why it is important (最後にまとめを) : In conclusion, ... because... To sum up, ... because...	